

学長から埼玉大学学生・教職員へのメッセージ

## 小松和彦氏の文化功労者選出の報に際して

2016年10月28日、本学卒業生の小松和彦氏が、文化功労者に選出されたという大変喜ばしいニュースが流れました。埼玉大学の学長として、また一同窓生として、心からの祝意を表したく思います。

小松氏は、埼玉大学教養学部教養学科を1970年に卒業された後、東京都立大学大学院社会科学研究科に進学されて研究者の道を歩まれ、大阪大学の教授などを経て、現在、国際日本文化研究センターの所長を務めておられます。妖怪文化や陰陽道文化が、日本人の心の歴史を知る文化財であることを学術的に解明されたという業績により、文化功労者選出に至ったとのこと。

小松氏の埼玉大教養学部時代における、さまざまな学問、先生、仲間との出会いが、彼を研究への道へと導き、この度の栄誉につながったであろうことは、在学生や卒業生のみならず、教職員にとっても大きな誇りであり、それぞれに、同じ埼玉大学の一員であるという自信へとつながったものと思います。

小松和彦氏の文化功労者選出の朗報は、昨年のもち田隆章氏のノーベル物理学賞受賞の朗報に続くものです。イノベーションの創出や地域社会への貢献等、大学に求められる使命が多様化する中、埼玉大学はこれからも、知を継承・発展させ新しい価値を創造するという、大学本来の基本的な使命をしっかりと果たし、より一層の輝きを放っていきます。皆さんの理解と協力をお願いするとともに、さらなる活躍を期待します。

2016年10月31日

埼玉大学長 山口 宏樹